

問10 本調査に対するご意見等がございましたら、自由にご記入ください。	
	DLは低下する一方であり、生きている限り、継続しつづけることが重要です。こうした事情から18年改正のような期限の設定にはなじまないものと考えます。医療が必要ない場合には、介護保険におけるリハビリに移るべきものかもしれませんが、医療を必要としている限りは、療養病棟においてこうした機能維持的リハビリを続けていくことが必要です。今後、療養病棟における「リハビリ」についてご検討・ご配慮をぜひお願いします。
155	国の委託事業であるということに、少なからぬ疑念（患者さんの立場なのかどうか）を抱いたところであるが、地域税（労働・家族構成・過疎・超高齢等）を考慮されて、患者様のニーズにこたえられるように御配慮いただきたいと思いきなり精密なアンケートでしたが回答した次第です。
156	算定を終了した患者数については把握できておりません。たいへん申し訳ございません。
157	過去の調査は難しい。将来の期間の調査であれば、準備して協力可能。今後、考えて下さい。
158	調査の目的が不明確、患者数の報告だけで全体像が把握できるのかが疑問である。現在、本調査に合致する型での統計をとっていない為各患者さんの診療録から拾う結果となり膨大な作業を要す結果となった。
159	特別のデータをとっていないため、不十分で申しわけありません。
160	一番必要な数字が明解に出せず申し訳ございません。ただ、リハビリテーション料の算定上限日数が終了した患者様で新疾患が見つからない患者様はほぼ同じ内容のリハビリを消炎鎮痛で対応している現状です。
161	・施設基準がとれなくなり、現在医療保険は全てサービスとして行っている。他の病院を知っているが、アンケートはそのような病院も含めた中から選ばれているのか不安。 ・施設向け患者調査票の該当患者様がH18.12にはいらっしやらなかったため、施設調査票のみ提出いたします。
162	当院への調査は呼吸器リハの実施状況でしたが、実施はありません。
163	当院のリハビリテーション（言語聴覚療法）の対象はほとんどが、発達障害をかかえた子供たちであるため、アンケート内容が合わず、ご家族へお渡しすることは出来ませんでした。療育機関が乏しいへき地では、医療でおぎなうことしかできません。限られた状況でよりよい指導を行うために、努力しています。
164	正確な値を把握することが困難で、空白の部分があります。ご了承下さいませ。
165	わかるところしか書けませんでした。もっと時間がいらいます。もっとみやすい調査にしてください。
166	自由記載の欄が小さいことと私の字が大変汚いため別紙とさせていただきます。今回の調査は大変有意義なものと考えています。効率的な医療費の利用という点でその基本となる調査と考えます。その上で何点か本調査に対する意見を述べたいと思います。平成18年の診療報酬改訂は様々な混乱の中で進められました。そのため経過措置が執られました。リハビリ分野では日数上限が設けられ何時を起算日にするかで議論があり、4月1日を起算日としました。そのため運動器では150日、脳血管では180日後にあたる8月、9月が上限月となりました。各医療機関では、当初3月時点で外来の長期通院患者の終了が相次ぎましたが、いったんおさまることになりました。終了の時期が8、9月に先延ばしされました。本調査は11月を調査対象月としており長期リハビリ患者の多くは終了となり混乱や矛盾が一定収まり、日数上限の影響が見えにくくなっていると考えます。